



きしもと なおき  
岸本 尚毅氏  
俳人協会評議員、「天為」「秀」同人

「朝顔やつるべとられてもらひ水」などの句で知られる江戸時代の女流俳人「加賀の千代女」が生まれ育った地で、岸本尚毅さんを特別講師にお招きして俳句大会を開催します。たくさんのご応募をお待ちしております。

# 千代女 全国俳句 大会

第一〇七回

## 【本大会】(席題・記念講演会・表彰式)

期 日	令和5年10月14日(土)
場 所	千代女の里俳句館 松任学習センタープララコンサートホール ほか
特別講師	岸本 尚毅 俳人協会評議員、「天為」「秀」同人(敬称略)
席題選者	岸本 尚毅 俳人協会評議員、「天為」「秀」同人 駒形 隼男 石川県俳文学協会参与、「あらうみ」参与 高橋 佳子 石川県俳文学協会参与、「馬酔木」同人 中川 雅雪 石川県俳文学協会会長、「風港」主宰 中西 石松 「雪垣」主宰 (50音順・敬称略)

参加費	1,000円(当日申し受けます) ※昼食代は別途必要です。
定 員	200名(18歳以上)
募集締切	令和5年7月30日(日) ※定員になり次第締切

日 程	8:30 受付・席題発表・吟行 11:30 投句締切・呈茶・昼食 13:00 千代女映像放映 13:15 主催者あいさつ 13:30 記念講演会 14:40 兼題表彰式 15:00 席題成績発表・表彰式・講評 16:00 主催者閉会あいさつ (終了予定16:05)
-----	--

## 応募および問い合わせ先

### 白山市立千代女の里俳句館

〒924-0885 石川県白山市殿町310番地

TEL: 076-276-0819

FAX: 076-276-8190

Eメール: chiyojonosato@city.hakusan.ishikawa.jp

## 加賀の千代女 (1703~1775)

元禄16年(1703)、加賀国松任(石川県白山市八日市町)表具師福増屋六兵衛、母つるの長女として生まれました。12歳の頃、本吉(同市美川本吉町)にある北湯屋(肝煎)の主人岸弥左衛門(俳号半睡)に弟子入りし、俳諧の手ほどきを受け、17歳の頃には、芭蕉門人の一人各務支考に「あたまからふしぎの名人」と讃えられ、全国に名を知られるようになります。

52歳の時に剃髪して尼となり、73歳で亡くなるまでに詠んだ句は1,900余と言われています。

代表句に「朝顔やつるべとられてもらひ水」「百生や蔓一すじの心より」などがあります。

**【兼題】**

● **テーマ**  
「雑詠」

● **選者** (50音順・敬称略)

- 小川 軽舟 「鷹」主宰
- 権 未知子 「群青」共同代表
- 片山由美子 「香雨」主宰
- 星野 椿 「玉藻」名誉主宰
- 宮坂 静生 「岳」主宰

● **応募方法**

左の「投句用紙」に3句1組で記入し、投句料を添えて千代女の里俳句館まで郵送もしくは持参してください。応募の際は、住所、氏名、俳号(句集掲載をご希望の方)、年齢、電話番号を明記してください。

作品、氏名には「ふりがな」を付けてください。

★作品は日本語で本人が創作した未発表のものに限ります。

★類句、類想句、二重投句は固くお断りします。

★同一作品や類似作品が先に発表されていた場合、賞を取り消すことがあります。

★入賞作品の著作権並びにこれから発生する全ての権利は白山市に帰属するものとします。

★ご応募に際してお寄せいただいた個人情報は、入選句集の作成と配布、本市俳句事業のご案内に使用します。

● **投句料**

3句1組につき1,000円(何組でも投句可)

※現金書留または定額小為替(受取人を指定しないこと)。切手は不可。

● **募集締切**

令和5年7月30日(日) 必着

● **賞**

- 「国民文化祭記念賞」(特別賞) 1作品
- 「千代女賞」(大賞) 5作品
- 「朝顔賞」(特選) 25作品
- 「つるべ賞」(秀逸) 50作品
- 「入選」 150作品

● **発表・表彰式**

令和5年10月14日(土)「本大会」の席上で行います。

● **入選句集**

「兼題」、「本大会 席題」の入賞作品を句集にまとめ、応募者および参加者全員にお贈りします。

(令和5年12月下旬送付予定)

↓ 切り取って、宛先として貼ると便利です。

(キリトリ線)

〒924-0885  
石川県白山市殿町310番地

白山市立千代女の里俳句館 宛

# 第107回千代女全国俳句大会

「兼題」投句用紙(雑詠・3句1組・自作未発表に限る)兼「席題・記念講演会」申し込み用紙

番号

作品

(漢字には「ふりがな」を付けてください)

※番号は記入しないでください。

	ふりがな	ふりがな	ふりがな
--	------	------	------

(キリトリ線)

- 楷書で濃くはつきりと書き、漢字には「ふりがな」を付けてください。
- 投句用紙のコピーは可とします。
- 「席題・記念講演会」参加申し込みの方は忘れずにご記入ください。参加費は当日申し受けます。

ふりがな			
氏名			
ふりがな			
俳号			
住所	〒 _____ 都道府県 _____		
電話番号		年齢	
10/14(土) 席題・記念講演会に参加			
<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない (どちらかを○で囲んでください)			